

令和3年度

事 務 報 告

乙訓福祉施設事務組合

目 次

◇ 総 務 課	1
◇ 乙 訓 若 竹 苑	13
◇ 介 護 障 害 審 査 課	25
◇ 障 が い 者 相 談 支 援 課	33
◇ 乙 訓 ポ ニ ー の 学 校	40

総 務 課

1 主要な事務事業に関する事項

(1) 人事

① 職員数（令和4年3月31日現在）

事務局長（派遣職員）	1
次 長	1
会計管理者（向日市会計管理者）	1
総務課 6名（再任用2名含む）	
課 長	1
参 事	1（再任用）
参 与	1（再任用）
企画総務係長（課長事務取扱）	
企画総務係	1
行財政係長	1
行財政係	1
乙訓若竹苑 14名（会計年度任用職員（月額）4名含む）	
施 設 長（次長事務取扱）	
主 幹	1
施設長補佐	1
主 査	1
就労継続係長	1
就労継続係	3（会計年度任用職員2）
生活介護係長	1
生活介護係	2（会計年度任用職員1）
地域活動係長	1
地域活動係	3（会計年度任用職員1）
介護障害審査課 6名（会計年度任用職員（月額）2名含む）	
課 長（派遣職員）	1
認定審査係長	1
認定審査係	4（会計年度任用職員2）
障がい者相談支援課 4名（会計年度任用職員（月額）2名含む）	
課 長	1
相談支援係長	1
相談支援専門職員（GM）	1（会計年度任用職員）
乙訓障がい者虐待防止センター相談員（係長事務取扱）	
乙訓障がい者基幹相談支援センター相談員	1（会計年度任用職員）
乙訓ポニーの学校 20名（会計年度任用職員（月額）6名含む）	
施 設 長	1
施設長補佐	1
事 務	1（会計年度任用職員）
指 導 員	1（会計年度任用職員）
療育係長	1
療育係	8（会計年度任用職員3）
相談係長（施設長補佐事務取扱）	
相談係	7（会計年度任用職員1）

合計 一般職員 34 名

* 再任用・会計年度任用職員（月額）を含めた合計は 50 名

* 派遣職員・会計管理者は除く。

* （ ）内は、再任用及び会計年度任用職員（月額）数の内書きである。

定数 38 名（一般職員の定数）

② 職員採用・退職等の状況

令和 2 年度 退職者数	令和 3 年度 採用者数	令和 3 年度 退職者数
2	2	1

(2) 職員研修（総務課扱）

人事評価に関する研修を（株）ぎょうせいから講師を招き、評価者（管理職員）を対象に実施した。その他、京都府・長岡京市等の主催する各種研修会への派遣を行う等取り組んだ。

① 内部研修

- ・「人事評価研修」

（令和 4 年 1 月 11 日～21 日実施（動画視聴）・全職員対象）

- ・「人事評価 評価調整会議」

（令和 4 年 3 月 3 日実施・管理職員対象）

② 派遣研修

研 修 名	人数	開 催 日	主 催
新規採用職員研修	2	令和 3 年 4 月 2 日・6 日	長岡京市
法制執務入門編（オンライン）	1	令和 3 年 5 月 19 日～7 月 18 日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
新任係長研修	2	令和 3 年 5 月 25 日・26 日	長岡京市
新任課長補佐研修	2	令和 3 年 7 月 6 日	長岡京市
法制執務の基礎（読み方・作り方）（オンライン）	1	令和 3 年 6 月 16 日～8 月 15 日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
令和 3 年度リモートラーニングによるデジタル人材育成のための基礎研修（オンライン）	4	令和 3 年 7 月 20 日～10 月 29 日	地方公共団体情報システム機構

研 修 名	人数	開 催 日	主 催
公務員のための地方自治法(オンライン)	1	令和3年7月21日 ～9月20日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
出納事務の合理的運用実務(オンライン)	1	令和3年7月29日・30日	一般社団法人日本経営協会
令和3年度地方公会計等に係る研修(オンライン)	1	令和3年8月31日	京都府自治振興課
法制執務応用編(オンライン)	1	令和3年9月9日～10日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
中堅職員研修(後輩指導・調整力)(オンライン)	2	令和3年10月12日・13日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
新任係長研修(オンライン)	1	令和3年10月28日・29日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
エクセル(基礎・応用)(オンライン)	10	令和3年11月1日～12月27日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
新規採用職員研修	2	令和3年11月24日・25日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
中堅職員研修(ファシリテーション)	2	令和3年12月16日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会
地方公共団体金融機構におけるeラーニング研修(オンライン)	1	令和4年1月11日～3月11日	地方公共団体金融機構
議会運営実務研修(オンライン)	4	令和4年2月1日～14日	公益財団法人京都市市町村職員振興協会

(3) 衛生管理

衛生管理については、定期健康診断、施設指導員の特殊健康診断及びストレスチェックに加え、産業医・衛生管理者による職場巡視や個別面談を実施し、職員の健康管理を支援した。

① 定期健康診断 (京都市市町村職員共済組合)

実施日 令和3年6月28日～7月1日

受診 48名(うち人間ドック9名)

対象 一般職・再任用・会計年度任用職員

② 特殊健康診断 (京都予防医学センター)

実施日 令和4年2月24日・25日

受診 22名

対象 施設指導員

③ 産業医による個別面談・健康診断結果意見付与・職場巡視随時

④ ストレスチェック 令和3年9月実施

⑤ 衛生委員会 随時

(4) 広報

組合の広報活動の一環として、広報紙を発行（年2回、6月・12月）し、全戸配布した。インターネットによる情報発信については、組合公式サイトにより、組合概要、各種事業やイベントの開催日程などの情報を提供した。

・組合広報紙「おつふくつうしん」の発行

発行日 第45号 令和3年 6月 1日

第46号 令和3年12月 1日

(5) 契約事務の状況（総務課所管）

物品賃貸借契約

契約件数 1件

物 件 名	契約の方法	契約の相手	契約金額 (税込)
コピー機リース料 (令和3年4月1日 ～令和8年3月31日)	指名競争入札	三菱HCビジネスリース（株）	3,359,400 円 (5年間分)

(6) 乙訓福祉施設事務組合運営協議会会議の状況

運営協議会で、乙訓福祉施設事務組合の円滑な運営を図るため、管理運営、関係行政機関との調整に関することを協議した。また、部署別等で専門的かつ詳細な協議を行うことが適当な場合には、必要に応じて部会を設けて協議した。

① 全体会

開催日	主な議題
令和3年8月3日	・令和2年度乙訓福祉施設事務組合歳入歳出決算書及び事務報告について ・各部会の報告について
令和3年11月17日	・令和4年度乙訓福祉施設事務組合一般会計予算（案）及び事業概要について ・各部会の報告について

② 部会

ア 若竹苑部会

開催日	主な議題
令和3年9月15日	・今後の生活介護事業について ・各事業（就B・地活・日中一時・相談）の現状について（報告）
令和3年11月12日 （書面開催）	・支援費請求システムについて

イ ポニーの学校部会

開催日	主な議題
令和3年11月12日 （書面開催）	・支援費請求システムについて

ウ 介護障害審査課部会

開催日	主な議題
令和3年7月16日 （介護保険担当）	・要介護認定支援システムの更新について
令和3年10月4日 （介護保険担当・書面開催）	・令和4年度予算編成について
令和3年10月4日 （障がい福祉担当・書面開催）	・令和4年度予算編成について

エ 障がい者相談支援課部会

開催日	主な議題
令和3年6月1日	・自立支援協議会事務局体制について ・学校や保育所等、医療機関における虐待通報を受けた場合の連携について ・乙訓障がい者虐待防止ネットワーク会議の委員について

令和4年1月31日	・ 自立支援協議会の現況と今後の方向性について ・ 基幹相談支援センターの専門相談部門のあり方について ・ 乙訓障がい者虐待防止ネットワーク会議の委員の追加について
-----------	--

(7) 例規改正等の状況

区 分	事 項
条 例 (5件)	・ 乙訓福祉施設事務組合個人情報保護条例の一部改正 ・ 乙訓福祉施設事務組合情報公開条例の一部改正 ・ 乙訓福祉施設事務組合職員の給与に関する条例の一部改正 ・ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正 ・ 職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正
規 則 (6件)	・ 乙訓福祉施設事務組合個人情報保護条例施行規則の一部改正 ・ 乙訓福祉施設事務組合情報公開条例施行規則の一部改正 ・ 乙訓福祉施設事務組合職員の給与に関する条例施行規則の一部改正 ・ 乙訓福祉施設事務組合会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部改正 ・ 職員の育児休業等に関する条例施行規則の一部改正 ・ 押印を求める手続きの見直し等のための関係規則の一部を改正する規則の制定

2 議会に関する事項

(1) 会議の概要

① 本会議

区 分	開催月日	会期日数
	場 所	
令和3年 第2回 定例会 (6月)	6月30日	1日
	組合庁舎2階大会議室	
令和3年 第3回 定例会 (9月)	9月22日	1日
	組合庁舎2階大会議室	

区 分	開催月日	会期日数
	場 所	
令和3年第4回 定例会 (11月)	11月29日	1日
	組合庁舎2階大会議室	
令和4年第1回 定例会 (3月)	3月25日	1日
	組合庁舎2階大会議室	
計		4日

② 種類別議決状況

(単位：件)

区 分	条 例	予 算	決 算	人 事	専 決 処 分	決 議	そ の 他	計
原案可決	5	3						8
認 定			1					1
承 認								
同 意				2				2
選挙その他								
計	5	3	1	2				11

(2) 議会一般

(令和4年3月31日現在)

① 議員定数 定数 9人 現員数 9人

② 議員構成

(単位：人)

構成市町	議 長	副議長	監査 委員	議 員	計	備 考
向日市			1	2	3	
長岡京市		1		2	3	
大山崎町	1			2	3	

(3) 議員視察研修

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し中止

3 監査に関する事項

令和3年度における検査、監査及び審査は以下のとおり実施した。

(1) 出納検査

実 施 日	検 査 対 象
令和3年 4月26日	令和2年度 3月分
5月25日	令和2年度 4月分 令和3年度 4月分
6月30日	令和2年度 5月分 令和3年度 5月分
7月26日	令和3年度 6月分
8月23日	令和3年度 7月分
9月22日	令和3年度 8月分
10月25日	令和3年度 9月分
11月29日	令和3年度 10月分
12月21日	令和3年度 11月分
令和4年 1月20日	令和3年度 12月分
2月21日	令和3年度 1月分
3月25日	令和3年度 2月分

(2) 定期監査

実 施 日	監 査 対 象
令和3年10月25日	総務課、介護障害審査課 若竹苑、ポニーの学校 障がい者相談支援課

(3) 決算審査

実 施 日	審 査 対 象
令和 3 年 7 月 2 6 日	令和 2 年度一般会計

4 公平委員に関する事項

会議の状況

- 開催数 1 回（書面開催）
開催日 令和 4 年 3 月 9 日
内容 ・ 公平委員の紹介
・ 組合諸報告
・ 組合条例他

5 令和 3 年度決算の概要

(1) 決算の状況

(単位:円)

区 分	予算現額	収入済額	支出済額	差引残額
一般会計	472,269,000	470,220,613	450,344,359	19,876,254

① 歳入内訳

(単位:千円、%)

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
分 担 金	331,032	70.4	313,227	69.6	17,805	5.7
負 担 金	112,973	24.0	113,288	25.2	△ 315	△ 0.3
小 計	444,005	94.4	426,515	94.8	17,490	4.1
府 支 出 金	3,793	0.8	6,694	1.5	△ 2,901	△ 43.3
財 産 収 入	4,513	1.0	5,315	1.2	△ 802	△ 15.1
繰 越 金	16,161	3.4	9,271	2.1	6,890	74.3
諸 収 入	1,749	0.4	1,986	0.4	△ 237	△ 11.9
合 計	470,221	100.0	449,781	100.0	20,440	4.5

② 歳出内訳（目的別）

（単位：千円、％）

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
議 会 費	1,203	0.3	1,580	0.4	△ 377	△ 23.9
総 務 費	79,520	17.6	66,101	15.2	13,419	20.3
民 生 費	369,622	82.1	365,939	84.4	3,683	1.0
合 計	450,345	100.0	433,620	100.0	16,725	3.9

③ 歳出内訳（事業別）

（単位：千円、％）

区 分		令和 3 年度		令和 2 年度		比 較	増減率
		決算額	構成比	決算額	構成比		
議 会 費		1,203	0.3	1,580	0.4	△ 377	△ 23.9
総 務 費		79,520	17.6	66,101	15.2	13,419	20.3
民 生 費		369,622	82.1	365,939	84.4	3,683	1.0
内 訳	若竹苑管理費	117,409	26.1	121,242	28.0	△ 3,833	△ 3.2
	若竹苑授産事業費	5,305	1.2	6,138	1.4	△ 833	△ 13.6
	介護保険認定事業費	68,344	15.2	79,905	18.4	△ 11,561	△ 14.5
	障害支援区分認定事業費	16,114	3.6	14,771	3.4	1,343	9.1
	障害者相談支援ネットワーク事業費	4,247	0.9	4,245	1.0	2	0.0
	障がい者虐待防止・基幹相談支援センター事業費	24,895	5.5	24,143	5.6	752	3.1
	ポニーの学校管理費	133,308	29.6	115,495	26.6	17,813	15.4
合 計		450,345	100.0	433,620	100.0	16,725	3.9

④ 歳出内訳（性質別）

（単位：千円、％）

区 分	令和 3 年度		令和 2 年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
人 件 費	367,284	81.6	339,438	78.3	27,846	8.2
物 件 費	54,309	12.0	62,617	14.4	△ 8,308	△ 13.3
維持補修費	456	0.1	2,468	0.6	△ 2,012	△ 81.5
補 助 費 等	28,296	6.3	27,187	6.3	1,109	4.1
投資的経費	0	0.0	1,910	0.4	△ 1,910	皆減
合 計	450,345	100.0	433,620	100.0	16,725	3.9

* 補助費等は、報償費、負担金、保険料等で、主なものは、要介護度認定及び障害支援区分認定のかかりつけ医意見書作成謝礼（26,044 千円）

(2) 債務負担行為に基づく支出額と次年度以降の支出予定額

（単位：千円、％）

契 約 内 容 (契約相手方)	契約期間	契約金額	令和 2 年度 末までの 支出済額	令和 3 年度 支出額	令和 4 年度 以降支出 予定額
要介護認定支援システムリース (みずほ東芝リース(株))	H28.6.1～ R3.5.31	31,143	30,105	1,038	0
障害支援区分認定支援システム リース ((株) 両備システムズ)	H31.4.1～ R6.3.31	16,459	6,584	3,292	6,583
合 計		47,602	36,689	4,330	6,583

(3) 一時借入金の状況

令和 3 年度の一時借入金の借入実績は、なかった。

(4) 給与費の状況

① 一般職

(令和4年3月31日現在)

平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	職員数
307,508 円	388,891 円	40 歳 3 月	34 人

* 上記の職員数には会計年度任用職員・再任用職員は含まれない。

② 特別職

職 名	給料月額
管 理 者	11,000 円
副管理者	9,000 円

③ 議員

職 名	報酬月額
議 長	10,000 円
副議長	8,000 円
議 員	7,000 円

(5) 基金積立金明細書

(単位：円)

名 称	令和2年度末 現在高	令和3年度中		令和3年度末 現在高
		積立額	取崩額	
財政調整基金	2,007,267	20	0	2,007,287
施設整備基金	0	0	0	0
計	2,007,267	20	0	2,007,287

乙 訓 若 竹 苑

1 施設運営及び利用者支援の総括

就労継続支援(B型)事業では、前年度からの新型コロナウイルスの影響が続き、高齢福祉施設の清掃の休止や長年受注していた企業1社が業績悪化により下半期から受注がなくなった。また、バザーやイベント関係もほとんど開催されなかったため、新規で2社から仕事を引き受け、新たな作業種目を導入し、さらに自主製品を常設販売してもらえる場所を2か所増やしたが、作業収入は新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻すまでには至らなかった。

利用者、家族ともに高齢化が進み、将来への不安を感じておられ、生活上の様々な課題を抱える人が多く、関係者との連携や個別的な支援が必要なケースが増えてきている。

生活介護事業では、2名が退苑し、現在3名が利用されている。個別活動を中心に自主製品づくりやアルミ缶リサイクル、創作活動などを行った。創作活動においては、いくつかの作品展に出展し、かんでんコラボ・アートにはグループ作品を出展し、審査員特別賞を受賞した。自主製品づくりでは、新たな製品を販売し収入アップにつながった。アルミ缶リサイクル活動では、向日が丘支援学校の生徒や近隣の方からの缶回収を通じて交流ができた。

地域活動支援センター事業では、土曜日は、一般就労もしくは就労支援事業所利用者を主な対象者とした「ふれあいサロン」を実施しており、プログラムへの参加を楽しみにされている利用者が、定期的に利用されている。平日については、次の福祉サービスが定着するまでの繋ぎとして利用されるケースがあった。外出レクリエーションは控え、盆栽ジオラマ、習字、オンラインでの工場見学等、室内の活動を中心に実施した。

日中一時支援事業では、新規に利用を希望される方は、土曜日の利用希望が多かった。なお、緊急時における利用は1件であった。

相談支援事業では、36名の計画相談を実施した。福祉サービスの利用終了に伴い計画相談を終了した方を、他の支援へ引き継いだり、新たに福祉サービスの利用を希望される方の対応を行った。

2 若竹苑共通事項

(1) 行事等の実施状況

実 施 日	内 容
5月26日・8月27日 11月9日・2月28日 3月11日	シェイクアウト訓練
6月14日～24日	結核検診
8月12日・9月2日	新型コロナウイルスワクチン接種(1回目・2回目)

8月19日・1月14日	内科健診
9月29日・2月9日	保健衛生講話
11月9日	防災避難訓練
11月17日	歯科検診

※ 口腔ケア 月1回不定期で実施

(2) 給食の実施状況

① 給食委員会

- ・実施回数 年間6回(奇数月)
- ・参加者 (株)城南給食センター 栄養士、調理師 他
乙訓若竹苑 支援員、利用者

② 喫食数

月	実施日	食数(食)	月	実施日	食数(食)
4月	21日	905	10月	21日	853
5月	18日	759	11月	20日	820
6月	22日	930	12月	20日	819
7月	20日	836	1月	19日	809
8月	21日	792	2月	18日	740
9月	20日	823	3月	22日	920

- ・年間給食実施日 242日(前年度 242日)
- ・年間合計食数 10,006食(前年度 11,374食)
- ・1日平均食数 41食(前年度 47食)

(3) 職員研修の実施状況

① 主な派遣研修

実施日	内 容	人数(人)
5月30日	発達障害特性から生じる児童青年期以降の不適応を考える(オンライン)	1
6月1日 8月23日～24日 9月28日 10月18日～19日	京都府相談支援従事者初任者研修(一部オンラインを含む)	2
6月14日 7月21日	京都府強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)(一部オンラインを含む)	1
6月19日	ユマニチュードについて(オンライン)	1
7月20日 9月21日～22日	京都府強度行動障害支援者養成研修(実践研修)(一部オンラインを含む)	1
7月27日	令和3年度 障害支援区分認定調査員研修(オンライン)	1
8月21日	WAIS-IVから見立てる高次脳機能障害(オンライン)	1
8月30日～31日	精神保健福祉基礎研修(オンライン)	1

実 施 日	内 容	人数(人)
9月22日	地域包括BCPのススめ(オンライン)	1
9月28日 10月20日～21日	令和3年度京都府サービス管理責任者等基礎研修(一部オンラインを含む)	1
10月1日・8日 15日	令和3年度乙訓圏域新任職員連続講座	2
11月16日 12月7日	相談支援従事者現任研修(一部オンラインを含む)	1
11月17日	聞いて役立つ発達障がいの方への相談支援のコツ(オンライン)	1
11月18日	令和3年度福祉サービス苦情解決事業セミナー(オンライン)	1
12月3日・ 21日～23日	令和3年度京都府サービス管理責任者等更新研修(一部オンラインを含む)	3
12月10日	令和3年度第1回乙訓障がい者基幹相談支援センター研修会「相談支援専門員のためのスキルアップ研修」(オンライン)	2
1月13日	令和3年度乙訓障がい者虐待防止センター主催研修会「虐待防止委員会について」	1
2月4日	令和3年度第2回乙訓障がい者基幹相談支援センター研修会「福祉職のコミュニケーションについて」(オンライン)	1
2月14日	安全運転管理者等研修	1
2月17日	虐待防止に向けて施設・事業所に求められる体制整備と身体拘束・行動制限の廃止を考える研修会(オンライン)	1
2月17日～18日	令和3年度医療的ケア児等支援者養成研修(オンライン)	1
3月17日	令和3年度福祉サービス苦情解決事業相談研修会「誰一人取り残さない防災を目指して」(オンライン)	1

② 主な内部研修

実 施 日	テ ー マ
4月21日	送迎業務従事者研修
11月30日	相談面接に関して
1月28日・2月4日	相談支援事業について
3月9日・15日	事務研修
3月11日・17日	障がいについての理解を深める
3月15日	インクルーシブデザインについて

(4) 実習・見学の受け入れ

- | | |
|----------------|-----|
| ① 社会福祉援助技術現場実習 | 3人 |
| ② 特別支援学校高等部実習 | 10人 |
| ③ 長岡京市役所新人職員研修 | 9人 |
| ④ その他見学 | 2人 |

(5) 出席率

(単位：％)

月	就労継続	生活介護
4月	88.8	79.0
5月	81.9	80.0
6月	86.2	100.0
7月	87.7	100.0
8月	84.6	100.0
9月	87.5	92.5
10月	87.4	91.7
11月	85.9	93.8
12月	87.5	95.0
1月	89.7	93.4
2月	90.7	76.4
3月	89.6	98.5
平均	87.3	91.7

(6) 苦情解決制度の利用 0 件

(7) ボランティアの受け入れ

地域活動支援センター 書道指導 1 人、調理指導 1 人

3 就労継続支援B型事業

(1) 年間開所日数 240 日 (前年度 241 日)

(2) 利用者の状況

① 利用者数 (定員34人 毎月末人数)

(単位：人)

月	向日市	長岡京市	大山崎町	計
4月	5	20	3	28
5月	5	20	3	28
6月	5	20	3	28
7月	5	20	3	28
8月	5	20	3	28
9月	5	20	3	28
10月	5	20	3	28
11月	5	20	3	28

月	向日市	長岡京市	大山崎町	計
12月	5	20	3	28
1月	5	20	3	28
2月	5	20	3	28
3月	5	20	3	28
計	60	240	36	336

1日平均利用者数 24.4人 (前年度 25.3人)

② 年齢・性別の状況 (令和4年3月31日現在)

(単位：人)

	18歳 ～19歳	20歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 以上	計	平均年齢
男	0	1	2	3	2	1	6	3	1	19	41歳
女	0	1	0	0	2	4	1	0	1	9	41歳
計	0	2	2	3	4	5	7	3	2	28	41歳

③ 在苑期間の状況 (令和4年3月31日現在)

(単位：人)

	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計	1人当たり 平均在苑期間
男	0	2	1	8	1	7	19	17年7ヵ月
女	0	1	0	2	1	5	9	18年5ヵ月
計	0	3	1	10	2	12	28	18年0ヵ月

④ 一般就労者 なし

⑤ 他事業所への移行 なし

(3) その他

① 作業収入

(単位：円)

月	介護事業所 室内清掃	下請軽作業	墓掃除・除草	自主製品	計
4月	40,800	218,440	29,000	1,500	289,740
5月	36,000	197,805	124,000	1,179	358,984
6月	43,200	249,127	29,000	1,189	322,516
7月	65,220	235,880	14,000	42,603	357,703
8月	67,620	112,109	125,100	540	305,369
9月	65,220	120,585	106,000	34,040	325,845

10月	37,820	206,892	73,000	4,620	322,332
11月	40,800	205,563	29,000	45,199	320,562
12月	40,800	249,102	70,300	9,600	369,802
1月	40,800	201,419	29,000	21,154	292,373
2月	38,400	218,221	29,000	1,198	286,819
3月	166,000	316,473	230,000	15,110	727,583
計	682,680	2,531,616	887,400	177,932	4,279,628

前年度 作業収入合計 4,922,654 円

② 作業工賃

	作業工賃(円)	受給者数(人)	平均月額(円)
4月	315,335	28	11,262
5月	272,635	24	11,360
6月	332,235	26	12,778
7月	343,130	26	13,197
8月	310,380	27	11,500
9月	335,795	27	12,437
10月	321,215	27	11,897
11月	300,705	26	11,566
12月	310,360	27	11,495
1月	295,380	27	10,940
2月	283,245	27	10,491
3月	337,115	27	12,486
一時金	215,500	27	7,981
計	3,973,030	※319	12,455

前年度 作業工賃合計 4,512,555 円 平均月額 13,551 円

※ 一時金の受給者数は含まない延人数。

③ バザー等の実施状況

(単位: 円)

日 程	名 称	場 所	売 上 額
10月1日	きりしま苑秋のフェスタバザー	きりしま苑	500
12月9日	人権を考える市民のひろば	バンビオ1番館	3,500
1月12日 2月9日	向日市社会福祉協議会	向日市福祉会館	1,600
3月10日	きりしま苑バザー	きりしま苑	700

日 程	名 称	場 所	売 上 額
常設販売	ほっこりんぐ売り上げ(計2回)	長岡京市役所他	1,000
常設販売	ほっとはあと店舗売り上げ等		12,005
その他	その他自主製品売り上げ		158,627
合 計			177,932

※ 前年度 売り上げ合計 383,000 円

④ レクリエーション等の実施状況

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、実施せず。

4 生活介護事業

(1) 年間開所日数 241日 (前年度 242日)

(2) 利用者の状況

① 利用者数 (定員6人 毎月末人数)

(単位：人)

月	向日市	長岡京市	大山崎町	計
4月	1	4	0	5
5月	1	4	0	5
6月	1	3	0	4
7月	1	3	0	4
8月	1	3	0	4
9月	1	3	0	4
10月	1	3	0	4
11月	1	3	0	4
12月	1	3	0	4
1月	1	3	0	4
2月	1	3	0	4
3月	1	2	0	3
計	12	37	0	49

1日平均利用者数 3.71人 (前年度 4.7人)

② 年齢・性別の状況 (令和4年3月31日現在)

(単位：人)

	18歳 ～19歳	20歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	計	平均年齢
男	0	0	0	2	0	0	2	32歳
女	0	0	0	0	0	1	1	41歳
計	0	0	0	2	0	1	3	35歳

③ 在苑期間の状況（令和4年3月31日現在 ※旧法時代を含む）

（単位：人）

	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計	1人当たり 平均在苑期間
男	0	0	0	2	0	0	2	14年 0ヵ月
女	0	0	0	0	0	1	1	22年 11ヵ月
計	0	0	0	2	0	1	3	18年 5ヵ月

(3) 生活介護事業の取り組みの状況

① 日課

- ・生産活動：手工芸製品作り（布製品、ビーズ製品、染製品など）
アルミ缶回収によるリサイクル活動など
畑作業（季節の野菜など）
- ・創作活動：絵画、諸工芸など
- ・生活訓練的活動：掃除、洗濯、着替え、配膳下膳など
- ・身体機能の維持活動：ウォーキング、軽運動など

② 健康管理

- ・看護師による月1回のバイタルチェック（体重・血圧・BMI）と健康相談内容の管理
- ・歯科衛生士の指導のもと、毎食後の歯磨き介助を実施

③ 社会的・文化的経験

- ・関係事業所の作品展「アートフェスタ」、「とっておきの芸術祭」、「かんでんコラボアート」、「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」に出展
- ・他係の利用者や職員とオンライン工場見学（カルビー・森永）やレクリエーション（カロリーング等）を通じて交流を図った。

④ その他

- ・工賃支給 年2回実施（総計 158,520 円/年 1人平均 39,630 円/年）
- ・個別支援計画の説明 年2回実施

5 地域活動支援センター事業

(1) 年間開所日数 247日（前年度 246日）

(2) 利用者の状況

① 年度末登録者数 24人 (内訳 向日市5人 長岡京市16人 大山崎町3人)

② 利用実績 (1日利用定員15人)

月	向日市		長岡京市		大山崎町		計	
	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)
4月	6	42	12	59	2	9	20	110
5月	6	32	8	46	1	7	15	85
6月	5	34	9	57	1	7	15	98
7月	5	34	10	54	3	8	18	96
8月	5	33	10	50	3	9	18	92
9月	5	34	10	48	2	5	17	87
10月	5	35	10	45	3	7	18	87
11月	5	28	10	34	3	10	18	72
12月	4	29	10	37	3	11	17	77
1月	5	17	10	45	3	9	18	71
2月	6	21	10	39	2	7	18	67
3月	6	38	11	48	3	15	20	101
計	63	377	120	562	29	104	212	1,043

前年度 利用者数(延べ人数) 250人

利用回数(延べ回数) 1,609回

③ 1日平均利用者数4.2人 (前年度6.5人)

④ 登録者の年齢・性別 (令和4年3月31日現在)

(単位:人)

	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳以上	計	平均年齢
男	0	2	3	0	4	0	9	41歳
女	0	1	6	5	2	1	15	41歳
計	0	3	9	5	6	1	24	41歳

(3) 地域活動支援センター事業の取り組みの状況

① 毎日の創作活動(書道・手芸・塗り絵など)

② 健康管理(健康相談など)

③ アルミ缶リサイクル

④ 定期面談

⑤ 工賃に関わる活動

収入から経費を引いた額を工賃として支給

・ アルミ缶収入 (1,827円)

・ 自主製品販売(小物入れ等) (5,264円)

工賃1人平均 590円(年)

6 日中一時支援事業

(1) 年間開所日数 247日 (前年度 246日)

(2) 利用者の状況

① 年度末登録者数 45人
(内訳 向日市19人 長岡京市24人 大山崎町2人)

② 年度内実利用者数 44人
(※年度内実利用者とはその年度に1回以上利用した人)

③ 利用実績 (1日利用定員5人＋緊急時枠1人)

	向日市			長岡京市			大山崎町			計		
月	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)
4月	11	27	72	19	49	122	2	3	15	32	79	209
5月	10	20	53	18	42	112	2	3	15	30	65	180
6月	13	30	75	19	49	126	2	3	15	34	82	216
7月	12	25	69	19	50	132	2	3	15	33	78	216
8月	13	27	74	18	44	112	2	3	15	33	74	201
9月	11	26	63	18	44	114	2	2	8	31	72	185
10月	11	25	65	21	51	130	2	2	8	34	78	203
11月	13	30	77	19	42	108	2	2	8	34	74	193
12月	13	29	78	21	52	131	2	2	8	36	83	217
1月	12	25	67	18	41	112	2	3	15	32	69	194
2月	13	21	55	19	41	109	1	1	6	33	63	170
3月	13	28	79	21	48	124	2	3	15	36	79	218
計	145	313	827	230	553	1,432	23	30	143	398	896	2,402

前年度 利用者数(延べ人数) 407人
 利用回数(延べ回数) 916回
 利用時間数(延べ時間数) 2,502時間

④ 過去5年間の利用状況

	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	備考
1日利用定員(人)	5+〈1〉	5+〈1〉	5+〈1〉	5+〈1〉	5+〈1〉	〈 〉内は緊急時枠
月平均利用者数(人)	37.8	36.9	33.6	33.9	33.2	年間利用人数を12で 除したもの
1日平均利用人数(人)	3.6	3.8	3.5	3.7	3.6	年間利用回数を開所 日で除したもの
1人当たり月平均利用 回数(回)	1.9	2.1	2.1	2.3	2.3	年間利用回数を年間利 用者数で除したもの
1人当たり1回平均利用 時間(時間)	2.7	2.6	2.6	2.7	2.7	年間利用時間を利用 回数で除したもの
1人当たり月平均利用 時間(時間)	5.1	5.5	5.6	6.1	6.0	年間利用時間を利用 人数で除したもの

⑤ 登録者の年齢・性別 (令和4年3月31日現在)

(単位:人)

	13歳 ～15歳	16歳 ～18歳	19歳 ～24歳	25歳 ～30歳	31歳 ～40歳	41歳以上	計	平均年齢
男	6	3	3	7	5	1	25	24歳
女	0	3	4	4	4	5	20	30歳
計	6	6	7	11	9	6	45	27歳

(3) 日中一時支援事業における支援の内容

- ① 一時的な見守り(家庭における介護者の介護軽減・就労の援助等)
- ② 食事や排せつ・送迎などの支援
- ③ ケアマネジメント会議等への出席
- ④ 利用相談・調整

7 相談支援事業

(1) 実施件数 (計画作成 36 件、モニタリング実施件数 76 件)

(単位：件)

	向日市		長岡京市		大山崎町		計	
月	計画作成	モニタリング	計画作成	モニタリング	計画作成	モニタリング	計画作成	モニタリング
4月	0	1	1	3	1	3	2	7
5月	1	1	0	5	1	1	2	7
6月	0	2	1	3	0	2	1	7
7月	2	0	0	2	0	3	2	5
8月	2	1	1	5	0	1	3	7
9月	1	0	1	3	0	1	2	4
10月	0	2	3	2	0	4	3	8
11月	0	3	4	3	1	1	5	7
12月	2	1	2	2	0	2	4	5
1月	1	0	4	1	1	3	6	4
2月	2	1	2	3	0	2	4	6
3月	0	3	2	4	0	2	2	9
計	11	15	21	36	4	25	36	76

前年度 計画作成 35 件、モニタリング実施件数 93 件

(2) 契約者の内訳 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

① 契約者数 36 人 (前年度末 契約者数 36 人)

(単位：人)

		向日市	長岡京市	大山崎町	計
乙訓若竹苑	就労継続	2	11	3	16
	生活介護	0	1	0	1
	地域活動	2	2	1	5
その他		3	8	3	14
計		7	22	7	36

介護障害審査課

向日市、長岡京市、大山崎町で受付・受理された要介護認定申請及び障害支援区分認定申請について、各市町が行った認定調査及び一次判定、並びに主治医意見書に基づき、公平公正な二次判定を行うと共に、円滑で効率的な介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会の運営に努めた。

1 介護保険認定事業

(1) 介護認定審査会（合議体）の開催

228回の審査会（合議体）を開催し、5,420件の二次判定を行った。
（詳細については、資料1のとおり）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アクリル板設置等十分な感染対策を行った上で対面方式にて開催した。

- ・審査会委員数 76名、任期2年（令和3年度・4年度）
- ・審査会委員 保健・医療・福祉に関する学識経験者等
- ・合議体数 19合議体（各合議体：4名）
- ・令和3年度より、申請件数の増加への対応及び審査会委員等の負担軽減を図るため、国の通知に基づき介護認定における介護認定審査会の簡素化を実施した。

(2) 介護認定審査会運営委員会

コロナ禍という緊急時における介護認定審査会の運営に関し、審査会委員全員の意見聴取を行った結果、審査会は十分な感染症対策を行った上で、今後も引き続き対面方式で実施することを確認した。

開催日：令和3年11月19日（金）（書面開催）

内 容：緊急時の審査会運営について

審査判定結果（報告）

令和3年度 各合議体における審査判定状況について（報告）

令和4年度以降の審査会資料の配付方法について（報告）

対象者：介護認定審査会会長、会長職務代理者

19合議体の長及び職務代理者、

(3) 介護認定審査会委員等研修

① 介護認定審査会新任委員研修（京都府主催）

開催日：令和3年4月12日（月）～4月21日（水）

（オンライン研修）

出席者：13名（審査会委員12名、事務局職員1名）

内 容：介護認定審査会委員の業務について

要介護認定について

② 介護認定審査会新任委員の審査会事前研修（介護障害審査課主催）

任期途中の辞任に伴う新任委員の就任への対応として実施した。要介護認定についての理解を深め、円滑な審査判定が行えるようにするために開催した。

開催日：令和4年 9月2日（木）

令和4年11月9日（火）

場 所 乙訓福祉施設事務組合 大会議室

出席者 各1名

③ 令和3年度介護認定審査会委員研修（介護障害審査課主催）

開催日：令和4年2月 （書面開催）

出席者：76名

内 容：要介護認定のしくみについて

④ 令和3年度京都府介護認定平準化研修（京都府主催）

開催日：令和4年2月9日（水）～3月13日（日）

（オンライン研修）

出席者：23名（審査会委員17名、事務局職員6名）

内 容：京都府における要介護認定者数の状況等について
介護の手間にかかる審査判定の留意点について

(4) 介護認定審査会に関する職員研修

① 令和3年度京都府認定調査員初任者研修

開催日：令和3年4月8日（木）～4月18日（日）

（オンライン研修）

出席者：2名

内 容：認定調査の基本的な考え方
介護認定審査会の手順と特記事項の書き方
一次判定ソフトの役割と仕組み
業務分析データの読み方
厚生労働省認定調査員向けeラーニング

② 令和3年度市町村介護保険新任担当者研修会

開催日：令和3年4月20日（火）

（オンライン研修）

出席者：2名

内 容：介護保険制度について
要介護認定のしくみについて
京都府介護保険審査会（審査請求について）他

③ 令和3年度京都府認定調査員現任研修

開催日：令和3年12月15日（水）～12月28日（火）
（オンライン研修）

出席者：6名

内 容：認定調査の留意点等について
認定調査について

(5) 乙訓地域包括ケアシステム推進交流会（乙訓医師会主催）

開催日：令和3年8月18日（水）、令和4年1月20日（木）
（オンライン開催）

出席者：2名

内 容：要介護認定審査状況等の報告
他機関との情報交換

2 障害支援区分認定事業

(1) 障害支援区分認定審査会（合議体）開催

36回の審査会（合議体）を開催し、394件の二次判定を行った。

（詳細については、資料2のとおり）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アクリル板設置等十分な感染対策を行った上で対面方式にて開催した。

- ・審査会委員数 15名、任期2年（令和3年度・4年度）
- ・審査会委員 障害保健福祉の学識経験を有する者等
- ・合議体数 3合議体（各合議体：5名）
- ・審査会の体制について、3年に一度の更新年の申請件数に対応するため、令和3年度より2合議体から3合議体に増設した。

(2) 障害支援区分認定審査会運営委員会

コロナ禍という緊急時における障害支援区分認定審査会の運営に関し、審査会委員全員の意見聴取を行った結果、審査会は十分な感染症対策を行った上で、今後も引き続き対面方式で実施することを確認した。

開催日：令和3年11月22日（月）（書面開催）

内 容：緊急時の審査会運営について

審査判定結果（報告）

令和2年度及び3年度 各合議体における審査判定状況について
（報告）

令和4年度以降の審査会資料の配付方法について（報告）

令和4年度の審査会開催日程について（報告）

対象者：障害支援区分認定審査会会長、会長職務代理者
認定審査会委員

(3) 障害支援区分認定審査会委員研修

① 令和3年度障害支援区分認定審査会委員研修（介護障害審査課主催）

開催日：令和4年2月（書面開催）

出席者：障害支援区分認定審査会委員15名

内 容：市町村審査会委員研修について

(4) 障害支援区分認定に関する職員研修

① 令和3年度障害支援区分認定調査員研修（京都府主催）

開催日：令和3年5月14日（金）

（オンライン研修）

出席者：1名

内 容：障害支援区分認定について（概要）

認定調査項目について

認定調査における留意事項について

令和 3 年度介護認定審査会 審査判定結果

1 合議体開催回数

228 回

2 審査判定結果

市町名	審査件数	「一次→二次」変更				非該当	要支援		要介護				
		変更件数		重度変更	軽度変更		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
		件数	変更率										
向日市	1,985	278	14.0%	261	17	3	361	204	402	292	246	284	193
長岡京市	2,851	346	12.1%	323	23	14	363	391	568	487	355	350	323
大山崎町	584	121	20.7%	117	4	2	83	63	120	90	75	84	67
合 計	5,420	745	13.7%	701	44	19	807	658	1,090	869	676	718	583

新規 1,668 件
更新 2,786 件
変更 966 件

合計 5,420 件

令和3年度障害支援区分認定審査会 審査判定結果

資料2

1 合議体開催回数 36回

2 審査判定結果

市町名	審査件数	「一次→二次」変更				障害支援区分						
		変更件数		軽度変更	重度変更	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
		件数	変更率									
向日市	147	19	12.9%	19	0	0	0	6	21	13	41	66
長岡京市	200	20	10.0%	20	0	0	0	10	32	34	33	91
大山崎町	47	8	17.0%	8	0	0	0	3	6	7	8	23
合計	394	47	11.9%	47	0	0	0	19	59	54	82	180

新規 69件
更新 324件
変更 1件
合計 394件

介護認定審査会 過去5年間の審査判定結果の推移（平成29年度～令和3年度）

2市1町合計件数

年度	審査件数	「一次→二次」変更				非該当	要支援		要介護				
		変更件数		軽度変更	要支援1		要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
		件数	変更率										
平成29年度	6,744	1,054	15.6%	915	139	40	1,018	1,130	1,270	1,067	818	759	642
平成30年度	5,509	902	16.4%	777	125	29	617	673	1,132	1,010	738	704	606
令和元年度	6,963	1,010	14.5%	899	111	37	1,145	1,058	1,357	1,070	831	825	640
令和2年度	4,462	616	13.8%	565	51	23	707	563	911	748	582	528	400
令和3年度	5,420	745	13.7%	701	44	19	807	658	1,090	869	676	718	583

向日市

年度	審査件数	「一次→二次」変更				非該当	要支援		要介護				
		変更件数		軽度変更			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
		件数	変更率	件数	軽度変更								
平成29年度	2,314	363	15.7%	319	44	337	350	455	382	293	275	214	
平成30年度	1,966	308	15.7%	264	44	251	211	391	389	240	249	227	
令和元年度	2,442	347	14.2%	317	30	419	301	510	370	313	296	228	
令和2年度	1,697	223	13.1%	204	19	312	179	342	263	233	201	159	
令和3年度	1,985	278	14.0%	261	17	361	204	402	292	246	284	193	

長岡京市

年度	審査件数	「一次→二次」変更				非該当	要支援		要介護				
		変更件数		軽度変更			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
		件数	変更率										
平成29年度	3,706	550	14.8%	471	79	564	667	667	578	430	406	364	
平成30年度	2,954	477	16.1%	406	71	307	404	614	524	414	363	313	
令和元年度	3,799	520	13.7%	457	63	603	642	709	611	431	433	342	
令和2年度	2,338	306	13.1%	283	23	328	344	460	415	292	276	211	
令和3年度	2,851	346	12.1%	323	23	363	391	568	487	355	350	323	

大山崎町

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	要支援		要介護					
		変更件数		軽度変更		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
		件数	変更率										
平成29年度	724	141	19.5%	125	16	2	117	113	148	107	95	78	64
平成30年度	589	117	19.9%	107	10	6	59	58	127	97	84	92	66
令和元年度	722	143	19.8%	125	18	4	123	115	138	89	87	96	70
令和2年度	427	87	20.4%	78	9	3	67	40	109	70	57	51	30
令和3年度	584	121	20.7%	117	4	2	83	63	120	90	75	84	67

障害支援区分認定審査会 過去5年間における審査判定結果の推移（平成29年度～令和3年度）
2市1町合計件数

参考資料

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	障害支援区分						
		変更件数		軽度変更		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
		件数	変更率									
平成29年度	207	34	16.4%	33	1	0	2	23	54	41	27	60
平成30年度	408	64	15.7%	64	0	0	0	26	69	55	78	180
令和元年度	255	43	16.9%	43	0	0	1	38	51	41	32	92
令和2年度	254	47	18.5%	47	0	0	0	35	68	50	32	69
令和3年度	394	47	11.9%	47	0	0	0	19	59	54	82	180

向日市

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	障害支援区分					
		変更件数		軽度変更		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
		件数	変更率								
平成29年度	73	10	13.7%	9	1	0	0	7	20	9	16
平成30年度	141	33	23.4%	33	0	0	0	6	16	38	56
令和元年度	81	14	17.3%	14	0	0	0	10	15	8	37
令和2年度	94	20	21.3%	20	0	0	0	14	22	10	23
令和3年度	147	19	12.9%	19	0	0	0	6	21	13	66

長岡京市

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	障害支援区分						
		変更件数		軽度変更		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
		件数	変更率									
平成29年度	104	15	14.4%	15	0	0	2	12	25	16	15	34
平成30年度	224	16	7.1%	16	0	0	0	15	37	36	32	104
令和元年度	148	22	14.9%	22	0	0	1	23	31	28	19	46
令和2年度	128	26	20.3%	26	0	0	0	16	40	21	15	36
令和3年度	200	20	10.0%	20	0	0	0	10	32	34	33	91

大山崎町

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	障害支援区分						
		変更件数		軽度変更		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
		件数	変更率									
平成29年度	30	9	30.0%	9	0	0	0	4	8	5	3	10
平成30年度	43	15	34.9%	15	0	0	0	5	7	3	8	20
令和元年度	26	7	26.9%	7	0	0	0	5	5	2	5	9
令和2年度	32	1	3.1%	1	0	0	0	5	6	4	7	10
令和3年度	47	8	17.0%	8	0	0	0	3	6	7	8	23

障がい者相談支援課

乙訓障がい者基幹相談支援センターを設置し、総合相談業務並びに障がい者虐待防止センター、障がい者自立支援協議会事務局等の各事業を行う。

1 乙訓障がい者基幹相談支援センター

地域における障がい児・者相談支援について、総合的な見地から以下の活動を行った。

(1) 地域の相談支援事業者等に対する専門的な指導、助言

相談支援事業所や市町からの相談及び本人や家族からの直接相談の件数は、下表のとおりである。

なお、対応の仕方は、依頼による各種会議への出席、継続的な訪問・面接等による直接対応等がある。

延べ相談件数（令和3年度）

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	令和2年度	平成元年度
市町	2	1	2	11	5	6	5	5	1	4	4	2	48	53	70
事業所	8	7	9	11	9	19	8	18	10	4	4	13	120	114	142
直接	5	5	9	4	7	11	6	7	5	8	7	10	84	81	76
その他	4	1	3	2	4	4	3	3	0	6	2	2	34	26	62
計	19	14	23	28	25	40	22	33	16	22	17	27	286	274	350
令和2年度	12	21	35	23	18	22	37	21	27	14	11	33	274		
令和元年度	32	39	28	34	21	21	28	26	21	26	18	56	350		

(2) 地域の相談支援事業者の人材育成支援

相談支援事業所の職員等を対象として資質向上を目的に研修を実施した。

第1回

日時 令和3年12月10日（金）10:00～11:30

場所 乙訓福祉施設事務組合（対面とオンラインによるハイブリット開催）

講師 華頂短期大学 幼児教育学科 武田康晴教授

内容 「わかりやすい支援計画とモニタリング～相談支援の基本に立ち返る」

参加人数 41名

第2回

日時 令和4年2月4日（金）10:00～11:30

場所 オンライン開催

講師 京都保育福祉専門学院副校長 京都ほせん研修センター長 岡本匡弘氏

内容 「福祉職のコミュニケーションについて～伝わるコミュニケーションと聴き方について～」

参加人数 19名

(3) 地域移行・地域定着に関する取り組み

乙訓圏域障がい者自立支援協議会の中に設置された「精神障がい者地域生活支援プロジェクト」に参加し、精神障がい者への様々な支援方法について協議を行った。

(4) 職員派遣研修（オンライン研修を含む）

5月28日 第152回市町村を対象とするセミナー「成年後見制度利用促進における体制整備の実践～中核機関の整備パターンと具体的実践報告を通じて～」

8月4日 令和3年度第1回成年後見制度利用促進体制整備に向けた合同勉強会

9月9日 令和3年度共生・福祉のまちづくり（ソーシャルインクルージョン）研修

11月16日 12月7日 令和3年度京都府相談支援従事者現任研修

12月14日 令和3年度第2回成年後見制度利用促進体制整備に向けた合同勉強会

12月23日 介護現場でのコミュニケーションを考える研修

1月27日、28日 全国知的障がい福祉関係職員研究大会

2月22日 令和3年度厚生労働省委託事業 後見人等への意思決定支援研修

3月11日 令和3年度地域福祉権利擁護事業に係る関係機関・団体等との情報・連携会議

(5) その他

① 障がい者の権利擁護の推進

虐待防止センターと協力し、成年後見制度の啓発等、障がい者の権利擁護に取り組んだ。

② 自立支援協議会の運営委員として各種部会等に参加した。

相談支援プロジェクト	2ヶ月に1回（プロジェクト委員長）、他打合せ会を適宜開催 プロジェクト内の入浴に関するワーキングチームに参加
精神障がい者地域生活支援プロジェクト	2ヶ月に1回、定例会
児童発達支援プロジェクト	2ヶ月に1回 定例会
人材育成・確保部会	2ヶ月に1回 定例会

2 乙訓圏域障がい者自立支援協議会事務局

京都府から「障害者相談支援ネットワーク整備推進事業」の委託契約を結び、乙訓圏域障がい者自立支援協議会の運営や障がい福祉に関する様々な事業を実施した。

(1) 地域の障がい者に関連する支援ネットワークの推進

① 乙訓圏域障がい者自立支援協議会の事務局として、全体会及び部会等の円滑な運営と課題の解決を図るため、必要な調整を行った。新型コロナウイルス感染症防止の対応として、オンライン開催、ハイブリッド開催、書面開催などで協議が途切れる事のないよう工夫をした。また、健康チェック表の記入や、マイクの消毒などできる限りの予防に努めた。

- ・全体会 1回開催（新型コロナウイルス感染症防止のため書面開催とした）
乙訓圏域の障がい者に関わる34機関・団体で構成

- ・運営委員会 11回開催

行政機関と相談支援の委託を受けた10事業所で定例会を開催し、協議すべき課題や支援策の検討、部会の進め方について協議を行った。

- ・部会等

医療的ケア委員会 6回開催

「医療的ケア」が必要なケースの検討や、医療型短期入所の開設に向けて、先行実施している病院との懇談を行った。

周知活動について、当事者の生活についての講演を学習会として開催した。

医療的ケア児者等コーディネーター養成研修修了者の交流会を実施した。医療的ケア児支援法と京都府の今後の取組について京都府障害者支援課が解説する講演会を実施した。

人材確保・育成部会 5回開催

福祉系大学学生の就職活動や傾向、大学の取り組み等の情報を集め、乙訓の障害者施設への人材確保の方策について協議した。乙訓でのインターンシップを取りまとめる「乙訓モデル」の作成について部会の中で具体的な協議を進めた。

乙訓の障がい者施設を紹介するためのチラシを作成し府下の就職フェアや関連の大学、専門学校等に配布した。

就労支援部会 5回開催

障がい者雇用促進のための公的機関での実習や福祉事業所の工賃アップを目指すための仕組みを協議した。乙訓障がい者就労支援ネットワーク「たけのこ」と共催で、10月に「ミニ企業交流会」を開催した。

庁内実習要項について内容を見直し、様式も含めて改定した。

就労継続支援事業所へのアンケート実施し、その結果を、乙訓障害者支援事業所連絡協議会に情報提供した。

相談支援プロジェクト 5回開催

相談支援専門員の視野を拡げ、スキルアップを目指すための取り組みについて基幹相談支援センターと共催で研修を実施した。

身体障がい者の入浴サービスを広げるため、乙訓の老人介護施設へアンケートを実施し、協力できるとの回答をいただいた11施設について行政へ情報提供した。

喀痰吸引等研修プロジェクト 11月20日、21日実施（2日間）

介護職員認定研修事業として、「医療的ケア」に関する講義や実技を乙訓福祉会と共催で実施した。(受講者24名)

精神障がい者地域生活支援プロジェクト 4回開催

ひきこもりの人を含めた精神障がい者に継続的な支援をする上で支障となることを明らかにして、アウトリーチ等の具体的な支援の方法について協議を行った。

乙訓地域の資源として、管内の居場所の取りまとめと居場所づくりについて協議を深めていくこととし、アンケートを実施した。居場所の定義についても確認し、また、地域における「社会的居場所」の定義について確認した。

ひきこもりに関する第2回支援者交流会を「乙訓もも」と共催で開催した。

児童発達支援プロジェクト 5回開催

児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所が増加しており、支援内容も多岐に渡るため、求められる支援の水準について協議した。また、乙訓圏域児童通所事業所連絡会と連携し「事業所情報一覧表」を取りまとめ、各事業所間で共有した。

② 各種機関とのネットワークづくりの推進

二市一町の障害福祉計画策定委員会、乙訓特別支援連携協議会、各種研修会、乙訓障がい者就労支援ネットワーク「たけのこ」、乙訓圏域児童通所支援事業所連絡会等に出席し、ネットワークの構築を図った。

(2) 情報の公開

乙訓圏域障がい者自立支援協議会のホームページを随時更新し、部会等の協議内容や研修会の広報等、情報発信を行った。

(3) 事務局事業

福祉人材の職場定着を図るため新任職員を対象にした「新任職員連続講座」を人材確保・育成部会と共催で開催した。

10月	1日	よくわかる訪問看護ステーションのなか(や)み	参加者21名
10月	8日	よくわかる支援学校進路指導のなか(や)み	参加者27名
10月	15日	よくわかるこども発達支援センターのなか(や)み	参加者29名

(4) 受講した主な研修等

6月29日 ひきこもり支援の基本を学ぶ

(京都府ひきこもり訪問応援「チーム絆」地域推進事業)

7月19日～ 京都府相談支援事業者初任者研修3日間オンライン開催

9月1日 「高等部卒業後(成人期)の暮らしを考える」シンポジウム
(「京都障害者の生活と権利を守る連絡会」主催)

9月13日 「親亡き後のお金の話」学習会
(「乙訓就労支援ネットワークたけのこ」主催)

9月25日 第1回支援者交流セミナー(「チーム絆」事業)

10月9日 「支援のてまえ～ひきこもり支援を題材に～」

10月16日 医療的ケアネットシンポジウム

10月22日 中小企業家同友会乙訓支部 例会

1月13日 障がい者虐待防止センター主催研修

2月21日 令和3年度知的障害者福祉施設・身体障害者福祉施設等職員研修

3 乙訓障がい者虐待防止センター

障害者虐待防止法に基づき運営し、業務を行った。

(1) 養護者、障がい者福祉施設従事者等、使用者による障がい者虐待に関する通報又は届出の受理

・通報ごとに市町と対応方針の協議と事実確認を行い、必要に応じてケース会議や家庭訪問、面接等を行った。

・通報受理件数

(単位:件)

	養護者による		施設従事者による		使用者による		合計	
	通報	認定	通報	認定	通報	認定	通報	認定
平成29年度	20	11	10	2	3	1	33	14
平成30年度	12	7	14	2	3	0	29	9
令和元年度	15	4	6	0	4	0	25	4
令和2年度	12	5	19	4	0	0	31	9
令和3年度	20	10	5	2	1	0	26	12

・二市一町とケースの情報共有を目的とした虐待事案進行管理会議を開催(毎月1回)

(2) 養護者による障がい者虐待の防止及び養護者による虐待を受けた障がい者の保護のための相談、指導及び助言

障がい者本人や養護者、障がい者の支援にあたる人からの来所相談、電話相談に対応した。

＜本人からの相談内容＞

家族との関係や日常生活の不安、支援内容の不満など

＜養護者からの相談内容＞

虐待対応に関することについて、家族間の関係について、将来の生活への不安、介護負担とその軽減について、利用しているサービスにおける不安や不満など

＜障がい者支援にあたる人からの相談内容＞

対応しているケースの虐待予防について

・障害者虐待防止法上の虐待ではない障がい者に対する虐待の相談に対応し、適切な窓口へ引き継ぎを行った。

(3) 個別ケース会議における専門職の参加

対応の難しい案件における京都府障害者・高齢者権利擁護センター専門職派遣チームが参加した個別ケース会議 9件

(4) 障がい者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する広報、啓発

① 障がい者虐待防止など権利擁護に関する研修会

福祉事業所や関係団体等からの依頼で、センター職員が各所に出向き、障がい者虐待防止や権利擁護に関する研修を講師として行った。

<福祉事業所からの依頼による研修>

- 7月 9日 株式会社親生 ぽっとまむ 職員研修 11名
- 7月19日 ヴィケア有限会社 ヴィキッズ 職員研修 10名
- 10月12日 株式会社KT ワークス 職員研修 6名
- 10月22日 乙訓福祉施設事務組合 乙訓ボニーの学校 職員研修 20名
- 11月4日、11日、25日 社会福祉法人向日市社会福祉協議会ホームヘルプセンター 職員研修 64名
- 11月15日 わいわいプラス株式会社 わいわいプラス乙訓教室 職員研修 26名
- 2月21日 NPO 法人てくてく 職員研修 69名

② 乙訓障がい者虐待防止センター主催研修

日 時 令和4年1月13日(木) 10:00～12:00
場 所 乙訓福祉施設事務組合 (対面とオンラインによるハイブリッド開催)
講 師 社会福祉法人 北摂杉の子会 平野 貴久氏
内 容 「虐待防止委員会について」
参加人数 会場 15名、オンライン 47名

③ 障がい者虐待防止連携協力体制の整備

令和3年度乙訓障がい者虐待防止ネットワーク会議・研修会の開催

8月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、障がい福祉に直接関係する機関・団体の他、医療・司法・教育・就労など38名の委員へ書面での報告を行った。また、研修として開催予定だった、南本宜子氏(済生会京都府病院福祉相談室)より提供いただいた資料を添付し、済生会京都府病院における虐待対策委員会の取り組みに関する理解を深める機会とした。

(5) センター職員派遣研修(オンライン研修を含む)

- 6月29日 京都府障害者虐待防止・権利擁護研修(市町村職員コース)
- 7月22日 京都府強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)
- 8月18日 発達障がいの理解と対応研修
- 8月24日 TA心理学(交流分析)パーソナリティ理論研修
- 8月26日 市町村職員のための障害者虐待・高齢者虐待での虐待対応に関する研修会
- 9月28日 イキイキ働ける職場作り研修
- 10月 5日 兵庫県障害者虐待対応力向上研修
- 10月29日 京都府障害者虐待防止・権利擁護研修(事業所職員コース)
- 11月16日、12月7日 令和3年度京都府相談支援従事者現任研修
- 12月 7日 令和3年度京都府サービス管理責任者等更新研修
- 12月26日 日本障害者虐待防止学会2021年度学術集会

- 1月25日 TA心理学（交流分析）脚本理論研修
- 2月 1日 障害者・高齢者の施設従事者等の虐待対応に係る研修会
- 2月 8日 日本社会福祉士会近畿ブロック研究会
- 2月 9日 障がい者・高齢者虐待防止に向けて施設・事業所に求められる体制整備と身体拘束・行動制限の廃止を考える研修会
- 2月27日 お互いに心地よいと思える人間関係をつくるために
- 3月 1日 健康経営の深刻化研修

乙訓ポニーの学校

1 施設運営及び療育の総括

- 日々の療育、相談支援に活かすようオンライン研修を含めて積極的に外部の専門研修に参加し、内部でも勉強会を実施した。また、医師や各種療法士を招いて困難ケース等の症例を挙げて検討し、療育、相談支援の質の向上を目指した。
- 児童発達支援事業では、新型コロナウイルス感染予防対策に努めながら、通常の療育と変わらない支援ができるよう尽力した。
- 相談支援事業では、契約者は年度末で430名となり、年間のサービス利用計画及び継続障害児支援利用報告作成件数は、延べ1,362件（前年度比118%）となった。
- ポニーの学校利用児に年1回発達検査を実施し、発達状況を把握した上で、保護者への相談対応を行った。

2 児童発達支援事業

(1) 行事等

- 4月 4日 療育開始
- 6月22日 第1回両親教室「就学先の選択と学校生活について」
話題提供者として卒園児保護者4人、参加者48人
- 6月23日 京都府立向日が丘支援学校説明会
(6月～9月に保護者の希望により、該当校の通常学級、特別支援学級等の参観を適宜実施)
- 7月11日 上半期家族懇談会（36人出席）
- 1月23日 下半期家族懇談会（32人出席）
- 3月30日 就学児を送る会（37組出席）
(新型コロナウイルス感染症拡大予防のため卒園児のみ参加、二部制で開催)

(2) 職員研修

① 派遣研修

京都府サービス管理責任者等実践研修	1人
京都府サービス管理責任者等更新研修	6人
サービス管理者・児童発達支援管理者研修	1人
相談支援従事者研修（発達障害）（オンライン）	1人
相談支援従事者初任者研修 講義（オンライン）	2人
相談支援従事者初任者研修 演習	3人
相談支援従事者現任研修 講義（オンライン）	2人
相談支援従事者現任研修 演習	2人
医療的ケア児等支援者養成研修 基礎（オンライン）	3人
京都府強度行動障害支援者養成研修（オンライン）	1人
脳性麻痺児療育関係職種対象講習会（オンライン）	1人
感覚統合入門講習会（基礎コース）（オンライン）	1人

感覚統合入門講習会（応用コース）（オンライン）	1人
京都府障害者虐待防止・権利擁護研修（オンライン）	1人
乙訓障害者虐待防止センター主催研修会（オンライン）	1人
乙訓圏域発達障害者支援センター研修会（オンライン）	1人
乙訓障がい者就労支援ネットワーク学習会（オンライン）	2人
福祉サービス苦情解決事業セミナー（オンライン）	1人
ひきこもり支援対応力強化研修 基礎	2人
ひきこもり支援対応力強化研修 実践	2人
京都府リハビリテーション研修会（オンライン）	1人
児童福祉施設職員研修（オンライン）	1人
社会福祉セミナー（オンライン）	1人
向日が丘支援学校夏のセミナー（オンライン）	4人
京都府スーパーサポートセンター秋の研修会（オンライン）	9人

② 内部研修

事例検討会 助言者：川畑 隆氏（臨床心理士） （7回実施）

内部研修会 助言者：廣田陽代氏（小児科医師） （2回実施）

専門職との連携

助言者：青木 のり子氏（理学療法士）	事例検討・研修等	1回実施
助言者：齋藤 典昭氏（言語聴覚士）	事例検討・研修等	2回実施
助言者：笹井 久嗣氏（作業療法士）	事例検討・研修等	2回実施
助言者：岩崎 香代氏（歯科衛生士）	実地指導・助言等	10回実施

(3) 利用状況

① 月別利用児童数

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
向日市	34	34	34	36	36	36	38	38	38	40	40	40	37
長岡京市	38	38	38	40	40	40	46	46	46	46	46	46	42.5
大山崎町	7	7	7	8	8	8	10	10	10	11	11	11	9
合計	79	79	79	84	84	84	94	94	94	97	97	97	88.5
令和2年度実績	96	96	96	95	95	95	101	101	101	101	101	101	98.3

② 男女別・年齢別幼児数

【上半期：9月末現在】

（単位：人）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	割合
男	0	2	5	15	13	33	68	81%
女	0	0	1	4	6	5	16	19%
計	0	2	6	19	19	38	84	100%

【下半期：3月末現在】

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	割合
男	0	3	10	18	13	33	77	79%
女	0	2	2	5	6	5	20	21%
計	0	5	12	23	19	38	97	100%

利用開始年齢 ー前年度比較ー 【4月1日現在】

(単位：人)

年齢	0歳児～	1歳児～	2歳児～	3歳児～	4歳児～	5歳児～	計
令和2年度	0	0	6	5	11	6	28
割合	0%	0%	21%	18%	40%	21%	100%
令和3年度	0	1	3	5	4	2	15
割合	0%	7%	20%	33%	27%	13%	100%

(4) 療育実施状況

① 主な障がい種別

(単位：人)

種別	肢体不自由	知的障がい	視覚障がい	聴覚障がい	発達障がい	その他	計
人数	2	38	0	1	35	21	97

② 事業の実施状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ 利用 児数	260	264	275	272	199	276	317	331	257	210	280	227
	延べ利用児数 3,168 人①											
療育 日数	15	14	17	15	10	14	18	20	14	14	16	13
	療 育 日 数 180 日②											
1日の平均利用児数 (①÷②) = 17.6 人												

※療育日数：療育を実施した日数。遠足や保護者向け講演会等の行事や保育所・幼稚園訪問、嘱託医相談日等は日数に含まれない。

定期療育出席率(利用率)

(単位：%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和2年度	86.9	89.5	93.4	86.6	91.2	94.0	85.6	91.5	86.7	93.2	85.4	89.2	89.4
令和3年度	90.6	91.7	90.5	85.5	85.0	89.0	87.0	88.0	85.0	71.0	78.0	85.0	85.5

③ 訪問指導 (単位：回)

上半期	下半期	計
20	45	65

(5) 発達相談

実施件数 84件

(6) 各種相談

- ① 嘱託医相談 (10回実施) 27人
- ② 歯科衛生士相談 (10回実施) 延べ52人
- ③ 作業療法士相談 (1回実施) 2人
- ④ 言語聴覚士相談 (1回実施) 2人

*③④は地域療育等派遣事業により、すてっぷセンターから派遣

(7) 療育関連事業

- ① 母と子の文庫 (絵本、紙芝居等の貸出し事業)
- ② おもちゃライブラリー 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し休止
- ③ 施設開放事業 新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し休止

(8) 安全衛生

新型コロナウイルス感染予防対策として以下の対策をとった。

- 登園時の消毒液による手指消毒の励行、手洗いの励行
- おやつ休止
- ドアノブ、机等備品の消毒、部屋の換気
- 職員のマスク着用、出勤前の検温
- 利用児及び保護者の登園時検温

食中毒予防並びに館内の衛生のため、以下の対策をとった。

- 昼食までの間、通園児の持参した弁当を冷蔵庫で保管 (6月～9月)
- 食前の手洗いの励行
- 衛生管理業者による水回り、プレイルーム及び面接室の消毒

(9) 防災関係

消防設備点検 (5月10日、11月8日)
避難訓練 (11月9日、1月8日)

(10) 虐待防止

職員研修 1回実施

(11) ポニーだより 4回発行

(12) 見学の受け入れ クリーク向日 2名

(13) 実習・研修の受け入れ

心理実践実習（公認心理師） 1名

心理実習（公認心理師） 13名

(14) 関係機関との連携

① ポニーの学校関係機関連絡会議

ケアマネジメント会議（向日市・長岡京市）

② 保・幼、母子保健及び児童福祉との連携

保育所、幼稚園訪問を実施すると共に、保健師と連絡を取り合い、児童と保護者、家族に対する理解を深め、適切な対応をとるよう努めた。

・長岡京市発達支援保育指導会議委員

③ 教育機関との連携

・向日市教育支援委員会 就学前児部会委員

・長岡京市教育支援委員会 新入児審議部会委員

・大山崎町教育支援委員会 就学前児部会委員

④ その他障がい者福祉との連携

・京都府療育教室指導者連絡協議会

・乙訓圏域障がい者自立支援協議会運営委員

・乙訓圏域障がい者自立支援協議会委員（相談支援部会・医療的ケア委員会）

・長岡京市障がい者ネットワーク連絡調整チーム会議委員

・長岡京市地域健康福祉推進委員会障害福祉部会オブザーバー委員

・乙訓圏域障がい者相談支援事業所連絡協議会

・乙訓圏域障がい児通所事業所連絡会

(15) 苦情解決制度の利用 なし

(16) 寄 贈

おもちゃ ウォーターガン 100個 ジュース用コップ 100個

（大阪新大阪ライオンズクラブから）

3 障害児相談支援事業

(1) 相談延べ件数（障害児支援利用計画作成モニタリング含む）

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
向日市	47	48	49	46	32	67	56	53	47	46	35	90	616
長岡京市	46	36	48	46	54	42	50	41	50	60	50	100	623
大山崎町	7	3	8	5	15	15	13	3	10	7	16	21	123
令和3年度合計	100	87	105	97	101	124	119	97	107	113	101	211	1,362
令和2年度合計	141	86	86	108	87	80	116	98	81	74	111	81	1,149

一般相談	年度	件数
	令和元年度	21
	令和2年度	13
	令和3年度	5

(2) 契約者数

（単位：人）

	向日市	長岡京市	大山崎町	合計
令和元年度	141	170	38	349
令和2年度	160	175	37	372
令和3年度	198	189	43	430

